

# SUZUKA RIVER



国土交通省 三重河川国道事務所 鈴鹿出張所

## 鈴鹿出張所の話題（特定外来植物）

オオキンケイギク、アレチウリの浸食が進んでいる！

### ★特定外来生物（オオキンケイギク、アレチウリ）の浸食が進んでいる！

昨年6月に発行した「SUZUKA RIVER」にも記載させていただきましたが、昨年度の除草工事において、オオキンケイギク、アレチウリが自生していることが確認されました。

オオキンケイギクは、鈴鹿川本川では左岸小倉橋の上流、右岸亀山大橋下流、鈴鹿川派川では左岸近鉄橋梁の上流、内部川では右岸矢矧橋上流、右岸前川橋上流で自生していることが確認されました。

また、アレチウリについては、内部川では右岸矢矧橋下流で自生していることが確認されました。なお、アレチウリについては、毎年7月に内部川クリーン作戦で右岸矢矧橋下流の駆除を行っています。

確認されたオオキンケイギク、アレチウリについては、伐根→乾燥→焼却処分を行っています。

### ★再度勉強しようオオキンケイギクとアレチウリ

特定外来種は、飼育、栽培、保管運搬、販売、譲渡、輸入、屋外に放つことが原則禁止されており、違反をした場合は罰則が課せられます。

では、それぞれの特徴について簡単に勉強しましょう。

#### ◆オオキンケイギク（キク科）

強靱な性質のため全国的に野生化し、貴重な植物への影響が懸念されています。開花期は5月～7月でキクによく似た花をさかせます。高さは0.3m～0.7m程度です。そろそろ開花時期ですが、花びらの先がギザギザになっているのが特徴です。



#### ◆アレチウリ（ウリ科）

生育速度が非常に速いつる性植物で長さ数m～数十mになり、群生することが多い。除草工事においても群生を確認しています。開花期は8月～10月で、果実は鋭い棘を密生させている。また、1株当たり400～500個の種子をつけるが、25,000個以上との報告もあり、アレチウリが大量に自生している場所では、他の植物がほとんど生育しない結果もあります。



